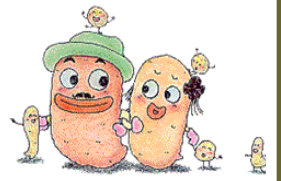


湯戸飛夜いけいけだより



Jinen Joe family

発行 西徳山まちづくりの会

記事:

- ・ 戸田駅発の日帰り旅行
下関に河豚を食べに行きました
- ・ 地元の名産品
!!! ソレーネ限定、シルクスイートで作ったイモケンピ!!!
- ・ 連載小説
『涙にぬれた蒼き思いー徳山七土物語ー』最終回
- ・ 令和元年度の活動を検証する
- ・ 花いっぱい運動
「地域花壇研修会に参加しました」
- ・ 今後の行事予定

会員募集中

あなたも「西徳山まちづくりの会」で一緒に活動しませんか。会では、常時、会員を募集しています。

E-mail :

nishitokuyamamatizuk
urinokai@gmail.com

戸田駅発の日帰り旅行

下関に河豚を食べに行きました

大寒なんて嘘のような暖かい1月26日、冬の味覚の王者「河豚を食べる下関への旅」を楽しんできました。今回の参加メンバーは8名で、戸田駅から電車に乗り込み下関へと向かいました。各駅停車でゆっくりのんびり、女子たちは飽きることなくお喋りに花を咲かせ、男子は移り変わる車窓の景色を楽しんで、2時間足らずで本州の西の端、下関駅に到着しました。食事場所「平家茶屋」の送迎バスに乗り込み、徳山よりチョット高いビルを眺めて「やっぱり下関は都会じゃね」とか言いながら、海饗館やゆめタワー、春帆楼、赤間神宮を車窓に見て、早鞆の瀬戸に面した「平家茶屋」に到着しました。通された部屋は関門海峡の急流を眼下に眺め、本州と九州を結ぶ交通の大動脈、関門橋を仰ぎ、対岸には九州の山並み、街並みを一望できる広々とした部屋で、一同の期待は大きく膨らみました。

河豚コースは、河豚の煮凝り、刺身、皮酢もの、サラダ、唐揚げ、鍋、茶碗蒸し等河豚三昧で、ビールで乾杯。ロシアの大統領も飲んだというお酒も少しいただきながら、しっかり河豚を堪能しました。

河豚は美容と健康に効果があるとされるプロテインやコラーゲン、元気になるタウリン等をたっぷり含み、高タンパクで低カロリーの最高の健康食品だそうで、帰路に見るみんなの顔は心なしか輝いて見え、足取りも軽やかに見えました。河豚は縄文時代から食べられていたそうで、毒があるということで禁止令が出た時代もありましたが、明治の元勳伊藤博文が禁止令を解いたお話は有名で、そのおかげで美味しい河豚を食べる事ができると思うと伊藤博文さんに感謝ですね。

俳人松尾芭蕉が、「河豚汁や 鯛もあろうに 無分別」と河豚を敬遠す



る句を詠んでいる一方で小林一茶は、「河豚食わぬ奴には見せな 富士の山」と詠んで河豚への大ファンぶりを見せています。今では海外でも人気が高まっているとかで、肯定派は増えている様です。

源平合戦や馬関戦役、その戦にまつわる悲しい歴史を秘めて、今も流れ続ける早鞆の瀬戸を眺めながら、味覚の王者河豚を堪能した下関への旅は心からの至福の旅となりました。



地元の名産品

！！ソレーネ限定、シルクスイートで作ったイモケンピ！！

皆さ～ん！もう食べられました？

シルクの舌触りで人気のサツマイモ！その美味しさをイモケンピにして食べて頂きたい。！．．．ということで．．．

始まりは4年前の“ソレーネ収穫祭”、焼き芋販売の“歩む会”メンバーから『どの芋が一番美味しい？安納？紅はるか？いや今はシルクスイートがNo.1＼（◎。◎）／！道の駅でも売るべきよ！いっそ自分達で作ろうよ！．．．』．．．で、始まった芋作り、『何時植えるん？収穫は何時？畝幅、株間は？収穫後日光浴させた方が美味しく腐りにくいよ！保管期間と貯蔵方法は？．．．』毎月の“歩む会”会合で知識を交換し合いながら厳しい出荷規格？？？で．．．軌道に乗った3年目、課題は、

『俺の芋500g 超えのジャンボばかり！端っこをネズミにかじられた！異形で焼き芋にはちょっと！??』．．．

そんな時ソレーネからうれしい提案。こんなに美味しい芋を無駄にするなんて勿体ない！イモケンピに加工して売ろう！．．．



で、出来上がったのが“地産地消のソレーネ限定イモケンピ！”

巷で売られる砂糖まみれで固いイモケンピと違い“パッケージも気品に溢れ、口当たり最高、味も天下一品”（ちょっと言い過ぎ）皆さまも是非、ソレーネでお買い上げ頂き、極上の味を品良く召し上がれ！！

〈豆知識〉

芋は、掘りたてではでんぷん100%。1週間位から熟成が始まり徐々にでんぷんがショ糖などに変化します。

歩む会では最低でも1ヶ月は保存してから出荷するよう皆で申し合わせています。



連載小説

『涙にぬれた蒼き思い—徳山七士物語—』 最終回 文 城山 耕祥

1865年1月末、萩藩主毛利敬親（もうり たかちか）は高杉晋作たちの主張を聞き入れ、これまで藩政を主導してきた棕梨藤太以下12名を処刑し、「武備恭順」の藩論に転換となった。

萩本藩の政策転換は徳山藩にも伝えられたが、徳山藩の野上家老は政治を改めなかったため、本藩の宍戸親基と前原一誠が徳山藩内の山崎隊の武力を背景に強硬な藩論転換を迫り、徳山藩主毛利元蕃（もうり もとみつ）は野上家老を排斥し、徳山藩も本藩と藩論統一となった。

義兄である小坂次郎佐の死により小坂家は断絶していたが、ある日、百合若は徳山藩主毛利元蕃から呼び出しを受けた。元服前の13歳であるが、中小姓として知行を与え、小坂家の再興及び元服を許すとの命を受け、百合若は小坂太一郎と名を改め、出仕することになった。

小坂太一郎は、徳山藩の献功隊に入り、明治の世になってからは、五稜郭の戦闘で初陣を飾った。その後、佐賀の乱や神風連の乱で戦績を重ね、陸軍で大きな期待をかけられる存在となった。

また、西南戦争では熊本城内で鎮台兵士を統率し、戦闘後の明治13年（1880年）には、陸軍中佐となった。

明治18年（1885年）、小坂太一郎は陸軍大学校において、ドイツから招へいされたメッセル参謀少佐と出会った。歴史の浅い日本陸軍にドイツ人将校の経験や知恵を取り入れるため、小坂太一郎は常にメッセル参謀少佐と軍務を共にし、3年後ドイツにメッセル参謀少佐が帰国する際には、「将来、日本陸軍は小坂、あるいは小坂の日本陸軍となるであろう。」と言わしめるほど、陸軍にはなくてはならない存在となった。

陸軍大佐に昇任していた明治21年（1888年）、明治天皇は徳山藩主であった毛利元蕃の願いを受け入れ、かつて天皇を中心とした政治を目指し、徳山藩内において志半ばに命を落とした七人の志士を、靖国神社に合祀することを認めた。この時に認められたのは、小坂太一郎の義兄である「小坂次郎佐」をはじめ、「江田市之進」「井上唯七」「河本源蔵」「大城清」「浅田又之丞」「本田久太夫」の七士。同年5月5日、おごそかに合祀が行われた。小坂太一郎は、元服前に徳山藩内で起こった出来事を思い出し、義兄が自宅玄関で無残な亡骸となっていたことや、これまでに血を流してきた数多の志士が国のために殉じたこ

とが公に認められたとのだと、涙を浮かべて自らに納得をさせた。

さらに、明治31年（1898年）、明治天皇は徳山七士全員に従四位の官位を与え、叙すことにした。

明治36年（1903年）、迫りくるロシアとの戦争回避に向け、陸軍中将となっていた小坂太一郎参謀本部次長は、桂内閣の一員として奔走していた。「義兄さんたちが天皇を中心とした政治を目指し、幾多の血が流れて築かれてきた今の明治国家を、満州の利権に目のくらんだロシアにつぶされてたまるものか。」

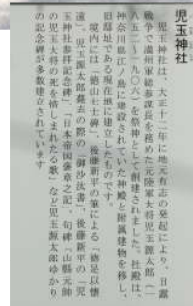
国の命運をかけた戦いを迫られた中、陸軍省自室の部屋から見上げる空は、青空に薄い雲がさす蒼い空で、小坂太一郎の肩に重くのしかかるようであった。

(完)

(あとがき)

この物語は、児玉次郎彦、江村彦之進、井上唯一、河本佳蔵、本城清、浅見安之丞、信田作太夫の「徳山七士」をモデルに、時期や場所など史実を基にして創作されたものです。また、児玉源太郎が軍人として頭角を現すまでは、つらい日々を経験していたことを表現できたと考えていました。

児玉町にある児玉神社敷地内に、徳山七士の碑も建立されており、これまで多くの作品が残されていない彼らについても、つたないこの物語を契機に、興味を持ってもらえればと考えています。



西徳山まちづくりの会

編集後記

フランスの作家、アルベール・カミュの「ペスト」という小説を読んだことがある。物語はフランスの植民地のアルジェリアの都市を伝染病のペストが襲う。町はパニックになり、やがて外部と完全に遮断される。閉鎖された町の中で、医師や市民らは、犠牲者を出しながらも団結して懸命にペストと戦い、やがて終息していくというあらすじだ。

今は新型コロナウイルスの流行である。小説が書かれたのが1947年であるから、都市の閉鎖もできたようだが、今ではそのようなこともできるはずもない。マスメディアもテレビにインターネットと情報には事欠かない。そして何より医学の進歩は言うまでもない。

私たちは、情報の取捨選択をして嘘に惑わされることなく、しっかりとした予防をしなければならない。この便りが読者の皆さんの手に届くころには、このやっかいな伝染病が終息していることを願ってやまない。

そしてその先には、このことをバネにして、さらなる元気の良い国になるように、頑張らなければと思う。

発行責任者

会長 神本康雅
広報部長 木曾裕子

西徳山まちづくりの会

ホームページURL:

nishitokuyama.web.fc2.com

令和元年度の活動を検証する

(1) 戸田駅を中心とした活動を継続する。

- ①毎月第2、第4土曜日に戸田駅前の清掃及び花壇の手入れを実施した。花は、年に2回植え替えている。夏場の花壇の水遣りを当番で行った。
- ②戸田駅前広場の環境美化活動に対し、周南健康福祉センター管内快適環境づくり連絡協議会長表彰を受けた。
- ③戸田駅前広場で令和元年7月27日と令和元年10月12日に「駅前ビアガーデン」を開催した。

(2) 「道の駅ソレーネ周南」を拠点とした活動に取り組む。

- ①『ソレーネ周南イベント実行委員会』に会から委員を出した。また、令和元年5月19日開催の「ソレーネ周南5周年記念」及び令和元年11月24日開催の「西徳山いけいけ大収穫祭 in ソレーネ周南」にイカ焼きで屋台村に参加した。

(3) 西徳山の発展を目指した新たな活動に取り組む。

- ①地元の有名人について、いけいけだよりに記事を掲載した。

(4) 交流・研修・広報活動に取り組む。

- ①令和2年1月26日(日)に下関市で研修旅行を行った。
- ②広報誌を3ヶ月ごとに年4回発行し、新聞折り込みで湯野、戸田、夜市地区に配布した。

(5) 組織を充実し拡大する。

- ①今年度は、会員増はなかった。
- ②毎月1回、映画鑑賞会を開催した。

(6) 他の諸団体と連携し効果的な活動を展開する。

- ①令和元年10月27日に熊毛地区で開催された「周南こどもゆめまつり」にイカ焼きで屋台村に参加した。
- ②戸田駅前花壇で「公園花とみどり課」と「種から育てる花作り」を連携して進めた。柳井市で開催された地域花壇研修会に参加した。

花いっぱい運動

「花の駅戸田駅前散歩」

山陽本線戸田駅に降りると前方に西徳山のマップ、右側に進むと信号機のところに心和む丸い花壇があります。

歩道を左側に進みトイレを過ぎると、歩道沿いがほうき草の花壇です。今年も新しいほうき草が芽を出して大きくなろうとしています。

それから、四つの花壇に東屋、市道沿いの芝ざくらの帯状の花壇、地域の皆さんの絶好の散歩コースです。今からは芝ざくら、ビオラ、ニゲラ、チューリップ、桜が咲き、華やかな戸田駅になりますよ。お楽しみに!!



今後の行事予定

西徳山まちづくりの会全体会

原則として毎月第1水曜日の19時30分から夜市市民センター

戸田駅前広場周辺の清掃

毎月第2、第4土曜日の16時から、戸田駅前広場の清掃と花壇の手入れを行っています。

お手伝いしていただける方、大歓迎です。